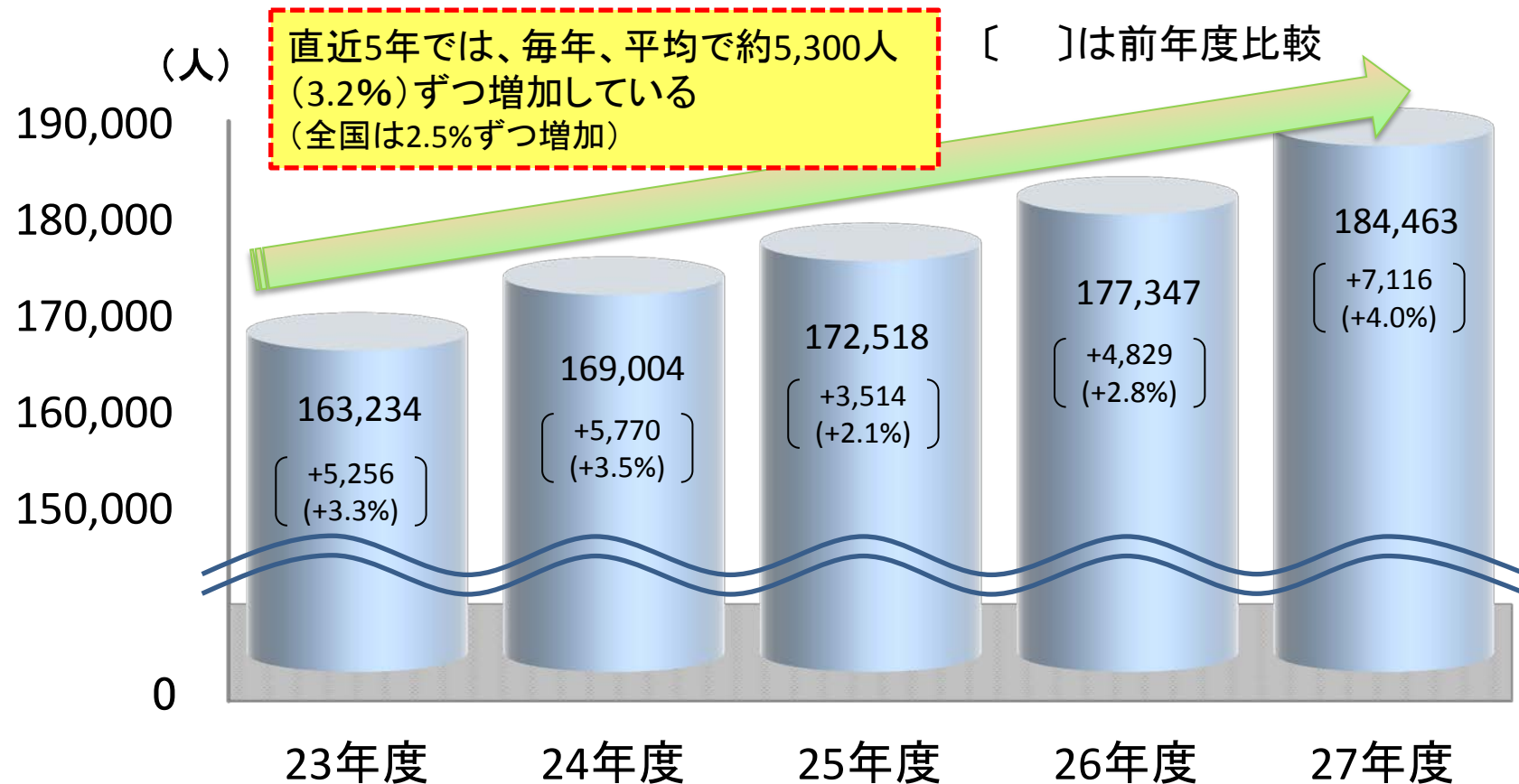


1 被保険者数の推移(平成23～27年度:年度末現在)



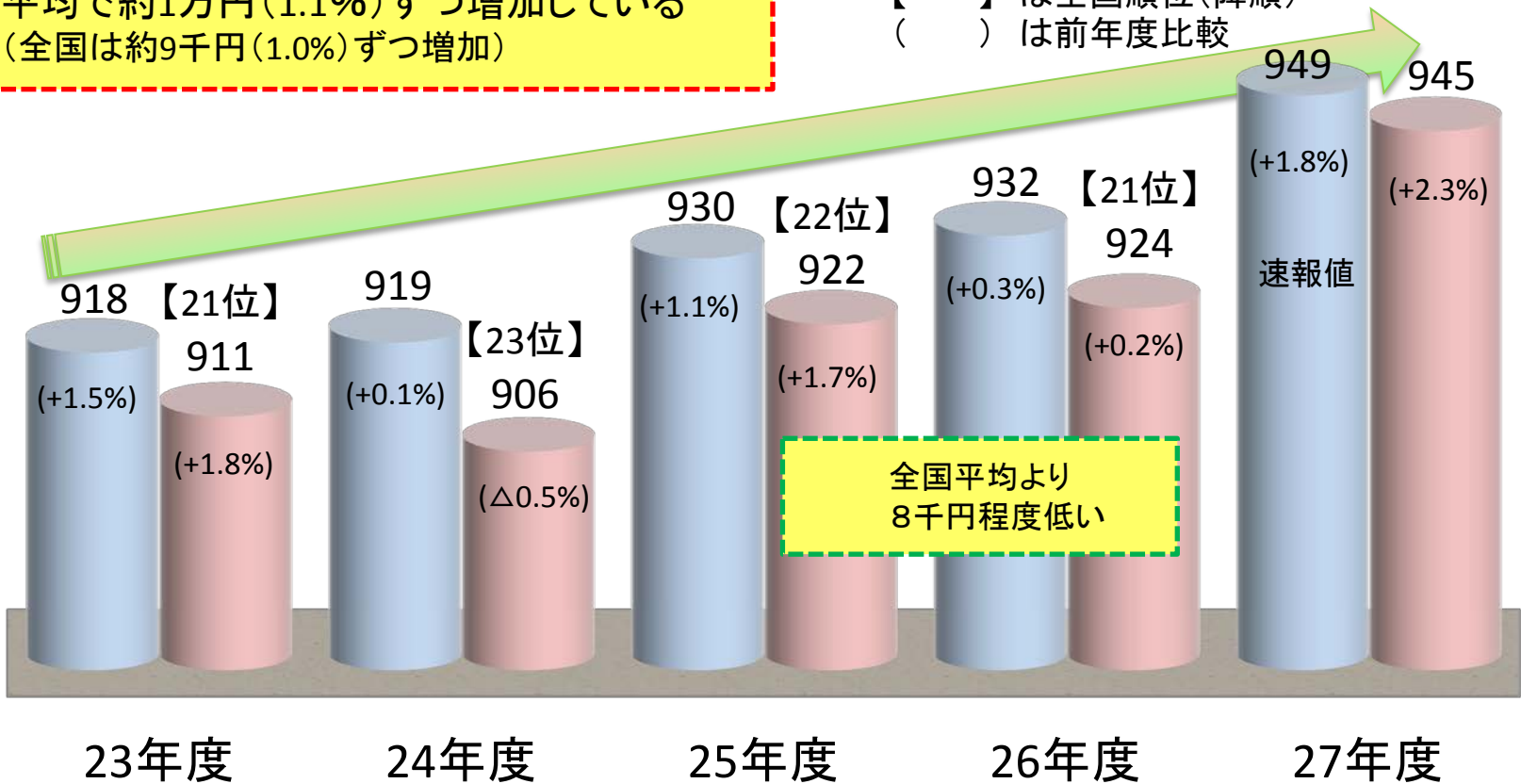
2 一人当たり医療費の推移(平成23～27年度)

直近5年では、奈良県は毎年、
平均で約1万円(1.1%)ずつ増加している
(全国は約9千円(1.0%)ずつ増加)

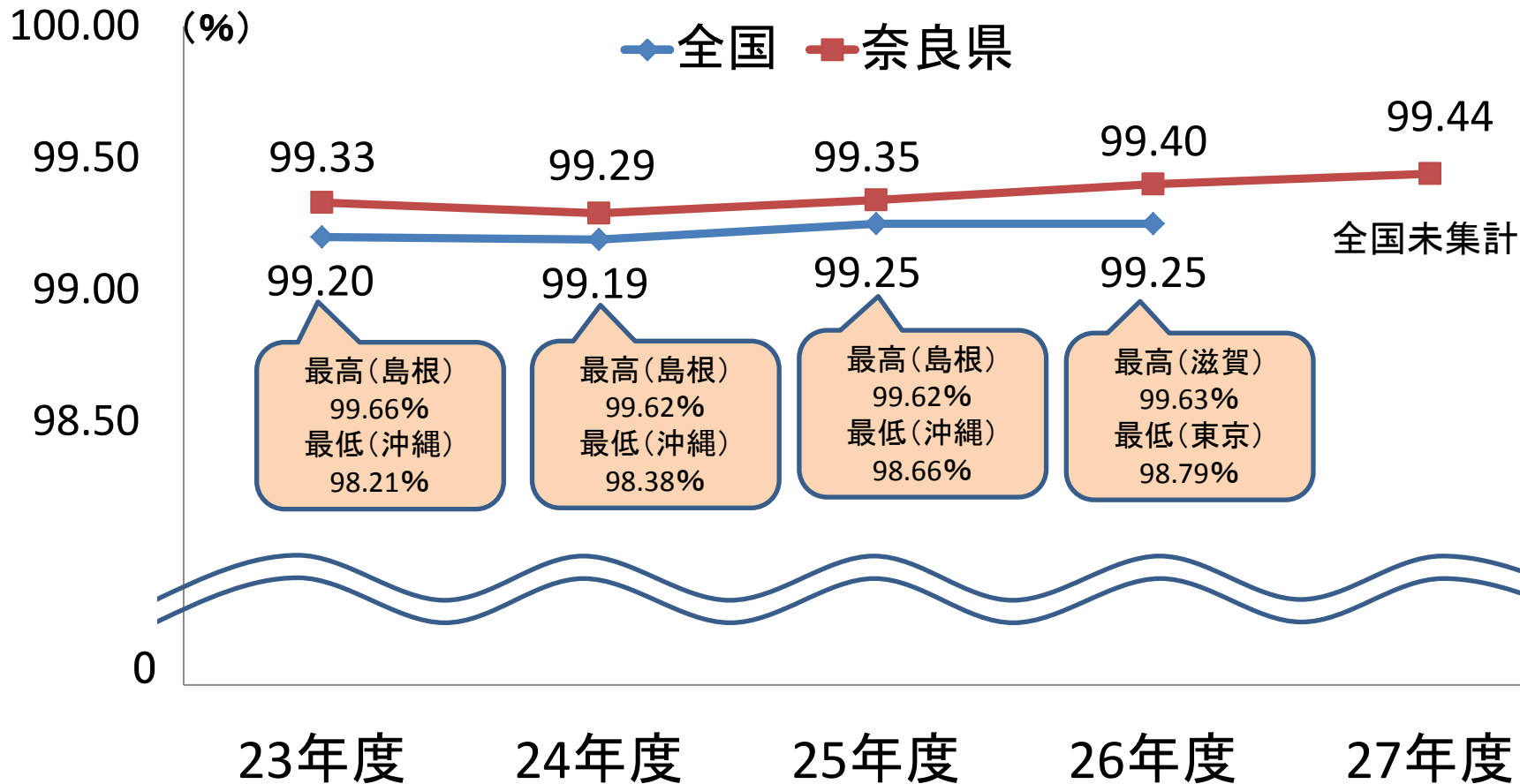
■ 全国 ■ 奈良県

単位:千円

【 】は全国順位(降順)
()は前年度比較



3 保険料収納率の推移(現年度分 平成23~27年度)



データヘルス計画（平成 27 年度重点事業実施状況）

【概要】

平成 25 年 6 月に閣議決定された、「日本再興戦略」の中で、レセプト等のデータ分析に基づく、加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」を作成・公表し、事業を実施し、評価等に取り組むという政府の方針が出されたのを受けて、厚生労働省は保険者に対し、健康・医療情報を活用して、効果的・効率的な保健事業の実施を図るための計画を策定し、計画に基づいて、保健事業を実施し、評価を行うこととした。（本広域連合では、平成 27 年 3 月に「データヘルス計画」を策定）

平成 27 年度は重点事業として口腔健診等を実施した。また、奈良県健康長寿共同事業実行委員会の協力を得て、高齢者の誤嚥予防の事業を実施した。

【主に課題に対応した重点事業】

重点事業【抜粋】	評価方法	平成 27 年度目標	平成 27 年度実績
①健康増進キャンペーン	運動している人（KDB から）	52%	52.3%
②口腔健診	受診率	5%	12%
③健診受診勧奨	受診率	22%	23.38%
④重複頻回受診者等訪問指導	指導を受ける人の割合	14%	19%
⑤栄養・運動教室 高齢者の誤嚥予防事業	実施回数	80回	83回
⑥広域・市町村連携会議の開催	開催回数	年1回	開催なし

①「健康増進キャンペーン」について

健康増進カレンダーの作成と配布

12月にカレンダー10,000部を市町村窓口にて配布
 カレンダーの裏表紙に「誤嚥にならん！体操」を掲載

【目標の達成状況：達成】

KDB帳票地域の全体像の把握【平成 27 年度（集計）】

1回30分以上運動習慣なし 55.0%（国 56.2%） →あり 45.0%
 1日1時間以上運動なし 47.7%（国 46.4%） →あり 52.3%

【評価：分析：検証：課題】

目標に近い数値であるが、次年度にむけて更なる周知を図り、周知内容についての検討が必要。

【今後の取組：事業の見直し等】

平成 28 年度において平成 29 年版カレンダーを 15,000 部作成（5,000 部増刷）
 平成 28 年 11 月 7 日頃から配布予定（1 か月配布時期を早期化）
 毎月のページに「誤嚥にならん！体操」を掲載

②「口腔健診（お口の健康診査）事業の実施」について

◆事業概要

口腔健診を実施することによって、被保険者の健康を保持・増進し、生活の質（QOL）の向上を図り、健康寿命の延伸を目指すことを目的とします。

●対象者 健診実施年度の4月1日現在、満75歳、満80歳、満85歳の被保険者

●実施時期 6月1日から11月30日まで

●実施回数 対象者1人1年に1回

●受診料 無料

●実施主体 奈良県後期高齢者医療広域連合が主体となり、個別方式を基本とします。

また、健診事業は、奈良県歯科医師会に委託します。

●実施方法

①広域連合から対象者に受診券を送付します。

②個別方式は、対象者に奈良県歯科医師会に所属する歯科医療機関に直接受診券を持参して受診してもらいます。

③集団方式は、選択した市町村が地区歯科医師会と協議し、実施日時、実施場所等を調整・決定して実施し、受診者を募ります。

●健診内容

①問診…問診票により口腔機能に関する自覚症状を聴取

②口腔内診査…歯の状態、粘膜異常、口腔衛生状況、歯周組織の状況等について診査

③口腔機能診査…反復唾液嚥下テスト、空^{から}うがいテスト等

④事後指導…健診の判定区分に基づき指導

【目標の達成状況：達成】

受診対象者34,417人中4,263人（12.39%）で大幅に目標を上回った。

【評価：分析：検証：課題】

（検診結果：健診票から抜粋）

自分の歯や口の状態で気になることがある人は過半数で

その中で1割を超える人が気になること 噛み具合、口臭、痛み、口の渇き、義歯の具合
奥歯をしっかりと噛みしめられない人 片方14.13% 両方5.16%

かかりつけ医がある人 75歳13.46% 80歳19.02% 85歳0.92%

県下全域での個別検診を実施できたためモデル実施による目標受診率を初年度は大きく上回る事となった。今後の受診状況により目標受診率の見直しを検討

【今後の取組：事業の見直し等】

今年度（平成28年度）の対象者は11%増の38,460人、平成29年度は16%増の約44,000人が見込まれる。

平成28年度において口腔ケア・口腔健診啓発用のクリアファイルを作成市町村窓口や、健診機関において11月中旬から配布予定。

健診結果の分析、次期計画期間（H30～32年度）における対象者の見直し、健診内容の検討を行う必要がある。

③ 健康診査の受診勧奨について

市町村に広報等依頼 10月、11月、12月勧奨強化月間
同時実施している人間ドックへの助成
詳細項目心電図・貧血検査の全員実施の継続

【目標の達成状況：達成】

平成27年度 目標受診率 22% 実績23.38% (1.38%上回った)

【評価：分析：検証：課題】

更に受診率を伸ばしていくための勧奨方法について検討が必要。

【今後の取組：事業の見直し等】

平成28年3月末に受診啓発用物品（クリアファイル）を作成し市町村へ配布

平成28年度において平成29年版健康長寿カレンダーを作成し、市町村窓口などにおいて11月中旬から配布。

カレンダーの4月から12月に「年に1回健診を受けましょう」の言葉を入れている。

④ 重複頻回受診者等訪問指導について

◆実施方法

民間業者（株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア）へ委託

●抽出要件

対象月：平成26年12月～平成27年2月診療分

（平成27年2月～平成27年4月請求分）

抽出条件：入院分レセを除いたレセプト情報から①、②、又は③に該当する被保険者

① 3カ月連続して、同一疾病での、1カ月当たりの診療報酬明細書
（レセプト）枚数が3枚以上（重複受診）

② 3カ月連続して、同一医療機関での1カ月当たりの受診回数が
12回以上（頻回受診）

③ 3カ月連続して、同一疾病での、1カ月当たりの医科入院外レセプト枚数が2枚以上あり、かつ調剤レセプト枚数が2枚以上ある被保険者

※「85歳以上の被保険者」、「特定疾病医療受療被保険者」、「がん・精神性疾患での受診者」、「処理時点で被保険者資格を喪失している者」は、対象外。

●実施時期

第1回目の訪問・・・平成27年10月中旬から11月下旬に実施

第2回目の訪問・・・平成28年1月中旬から3月中旬に実施予定

【目標の達成状況：達成】

指導を受ける人の割合 目標 14% 実績 19%

【評価：分析：検証：課題】

事業の継続にあたり、対象の抽出方法、訪問指導の内容等について検討が必要。

【今後の取組：事業の見直し等】

対象者の減少対策としては、抽出時期の見直しを行う必要がある。

⑤ 栄養・運動教室の実施について

広域連合と県からの負担金で奈良県健康長寿共同事業実行委員会を運営

「誤嚥にナラん！体操」を考案し、市町村、関係団体と連携して地域における健康づくりに関する指導・普及啓発活動を展開。

【目標の達成状況：達成】

平成27年度 目標開催回数 80回 実績開催回数 83回（2,497人）

【評価：分析：検証：課題】

平成28年度は、43回実施済（4～9月）、今後、51回実施予定（10～3月）計94回実施予定

【今後の取組：事業の見直し等】

平成28年度も計画目標を達成予定であり、今後も引き続いて、実施回数増に努める。

⑥ 広域・市町村連携会議の開催について

事業目的は、市町村国保・介護・健康増進部門との連携強化

【目標の達成状況：未達成】

目標開催回数 年1回 未実施

【評価：分析：検証：課題】

他広域開催の健康フォーラムに参加し、他広域の事業状況、開催内容等を今後の参考とした。
市町村国保・介護・健康担当との連携について、市町村調査を行うなど現状把握もできていない。

【今後の取組：事業の見直し等】

市町村国保・介護・健康担当との連携について、市町村調査を行うなど現状把握を行う。
情報交換等の場となる平成29年度 保健事業担当者を対象とした研修会の予算を計上。
市町村の国保、介護、健康部門への情報提供を検討する。